



## 2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)栗原 斉 (TEL)03(5484)6142  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月2日 配当支払開始予定日 2019年9月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	20,601	5.5	2,257	27.2	2,300	27.5	1,443	28.7
2018年12月期第2四半期	19,527	△1.2	1,774	△13.7	1,803	△13.5	1,121	△14.4

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 1,507百万円(58.2%) 2018年12月期第2四半期 953百万円(△32.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	74.21	—
2018年12月期第2四半期	57.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	54,214	40,713	67.1
2018年12月期	53,046	39,578	66.5

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 36,368百万円 2018年12月期 35,283百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	5.00	—	18.00	23.00
2019年12月期	—	10.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	16.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,200	8.0	4,100	11.5	4,150	10.8	2,550	9.9	131.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2019年12月期 2 Q	20,763,600株	2018年12月期	20,763,600株
② 期末自己株式数	2019年12月期 2 Q	1,305,656株	2018年12月期	1,305,282株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2019年12月期 2 Q	19,458,151株	2018年12月期 2 Q	19,458,742株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善が見られるものの、消費税引き上げによる消費減退および米中貿易摩擦激化による世界経済の悪化が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、各種政策効果による下支えが続くものの、新設住宅着工戸数は減少傾向となり、原材料価格の値上がりや物流コストの上昇などの要因もあり厳しい環境が続いております。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は20,601百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は2,257百万円（前年同期比27.2%増）、経常利益は2,300百万円（前年同期比27.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,443百万円（前年同期比28.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### [室内外装品関連事業]

他社との差別化を図るべく、カスタマイズブラインド全製品の操作方法を、安全性・操作性に優れた「チェーン操作」にリニューアルし、新たに『フォレティアエグゼチェーン』『フォレティアシェイディチェーン』『アフタービートエグゼチェーン』を発売するなど、付加価値と機能性を追求した製品の開発、販売に注力してまいりました。

また、高い遮蔽性を持ち、ワンタッチ操作でブラインドがゆっくりと下降する機能を搭載したヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』や、光漏れと直射光の侵入を低減したヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』、生地巻き取り部などを隠して直射光を遮る「シールド」を装備したロールスクリーン『ラルクシールド』など、近年発売した付加価値の高い製品を販売の軸とし、市場の拡大を図るとともに、5月より全国において新製品発表会を開催し、新製品の市場浸透にも取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は17,063百万円（前年同期比2.3%増）となり、営業利益につきましては、原材料価格の高騰や、物流コストの上昇があったものの、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、2,011百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

#### [駐車場装置関連事業]

独自の付加価値提案を積極的に展開し、受注獲得に努めた結果、『スーパーパズル』（大規模地下駐車場）の大型物件を計上したことで、売上高は1,683百万円（前年同期比53.8%増）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、選別受注と原価低減活動に取り組んだ結果、115百万円（前年同期比322.8%増）となりました。

#### [減速機関連事業]

国内外の設備投資動向が堅調に推移するなか、企業の人手不足を背景に、物流・工場自動化等のニーズが広がり、無人搬送台車駆動用特殊減速機をはじめ、産業用減速機の受注が好調に推移したことにより、売上高は1,853百万円（前年同期比6.2%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めたことで、130百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は54,214百万円で、前連結会計年度末と比較し1,167百万円の増加となりました。

## (資産)

流動資産は36,168百万円で、前連結会計年度末と比較し607百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は18,045百万円で、前連結会計年度末と比較し560百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による増加や、投資有価証券の取得による増加によるものであります。

## (負債)

負債は13,500百万円で、前連結会計年度末と比較し32百万円の増加となりました。これは主に、未払法人税等が減少した一方で、未成工事受入金が増加したことによるものであります。

## (純資産)

純資産は40,713百万円で、前連結会計年度末と比較し1,134百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は67.1%と、前連結会計年度末と比較し、0.6ポイントの増加となりました。

## [キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ466百万円減少し、13,660百万円となりました。

## [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、942百万円の増加（前年同期は1,169百万円の増加）となりました。

これは税金等調整前四半期純利益2,298百万円に対し、減価償却費357百万円等による増加があった一方で、法人税等の支払額808百万円、売上債権の増加額774百万円、棚卸資産の増加額275百万円等による減少があったことによるものであります。

## [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、998百万円の減少（前年同期は374百万円の減少）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出351百万円、無形固定資産の取得による支出155百万円、投資有価証券の取得による支出500百万円等によるものであります。

## [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、402百万円の減少（前年同期は255百万円の減少）となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出31百万円、配当金の支払い371百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、消費税引き上げによる消費減退や米中貿易摩擦激化による世界経済の悪化が懸念されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましても、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取り組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、2019年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において2019年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,186,657	13,720,588
受取手形及び売掛金	14,317,016	15,262,319
商品及び製品	644,696	708,147
仕掛品	1,411,843	1,497,623
未成工事支出金	388,060	300,705
原材料及び貯蔵品	3,630,772	3,840,196
その他	993,791	851,969
貸倒引当金	△11,815	△13,197
流動資産合計	35,561,024	36,168,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,292,846	13,351,957
減価償却累計額	△9,224,329	△9,348,883
建物及び構築物(純額)	4,068,517	4,003,073
土地	7,444,602	7,444,602
その他	14,976,659	15,119,681
減価償却累計額	△13,620,203	△13,622,446
その他(純額)	1,356,456	1,497,234
有形固定資産合計	12,869,576	12,944,910
無形固定資産	394,152	513,882
投資その他の資産		
投資有価証券	1,645,707	2,101,814
退職給付に係る資産	345,272	344,319
その他	2,425,727	2,259,891
貸倒引当金	△194,822	△119,154
投資その他の資産合計	4,221,884	4,586,870
固定資産合計	17,485,613	18,045,663
資産合計	53,046,638	54,214,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,737,524	6,734,284
未払法人税等	859,936	762,142
賞与引当金	222,044	218,459
役員賞与引当金	69,080	33,410
製品保証引当金	12,490	17,392
工事損失引当金	2,866	-
その他	1,864,106	2,089,407
流動負債合計	9,768,049	9,855,096
固定負債		
役員退職慰労引当金	374,500	373,825
退職給付に係る負債	3,126,386	3,090,935
その他	198,808	180,851
固定負債合計	3,699,695	3,645,611
負債合計	13,467,744	13,500,708
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,016	4,395,016
利益剰余金	27,128,462	28,222,138
自己株式	△670,376	△670,825
株主資本合計	35,328,102	36,421,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,022	210,172
繰延ヘッジ損益	△776	△1,827
為替換算調整勘定	33,630	26,762
退職給付に係る調整累計額	△317,598	△288,268
その他の包括利益累計額合計	△44,722	△53,160
非支配株主持分	4,295,514	4,345,139
純資産合計	39,578,894	40,713,308
負債純資産合計	53,046,638	54,214,016

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	19,527,798	20,601,804
売上原価	10,915,788	11,520,836
売上総利益	8,612,010	9,080,968
販売費及び一般管理費	6,837,302	6,823,286
営業利益	1,774,708	2,257,681
営業外収益		
受取利息	511	592
受取配当金	32,243	41,612
不動産賃貸料	17,919	17,798
その他	36,339	39,250
営業外収益合計	87,013	99,254
営業外費用		
支払利息	9	10
売上割引	40,789	41,778
為替差損	8,929	8,205
その他	8,295	6,938
営業外費用合計	58,024	56,933
経常利益	1,803,698	2,300,002
特別損失		
固定資産除売却損	3,194	1,866
特別損失合計	3,194	1,866
税金等調整前四半期純利益	1,800,503	2,298,136
法人税、住民税及び事業税	530,375	705,195
法人税等調整額	107,981	76,871
法人税等合計	638,356	782,066
四半期純利益	1,162,147	1,516,069
非支配株主に帰属する四半期純利益	40,528	72,143
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,121,618	1,443,926



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,162,147	1,516,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△249,321	△30,953
繰延ヘッジ損益	2,765	△1,050
為替換算調整勘定	△8,423	△6,867
退職給付に係る調整額	46,141	30,492
その他の包括利益合計	△208,837	△8,379
四半期包括利益	953,309	1,507,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	928,728	1,435,488
非支配株主に係る四半期包括利益	24,580	72,202

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,800,503	2,298,136
減価償却費	352,368	357,720
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,617	△3,585
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△41,700	△35,670
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△9,538	△12,519
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	77,948	21,934
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,075	△675
製品保証引当金の増減額(△は減少)	7,773	4,902
工事損失引当金の増減額(△は減少)	-	△2,866
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,526	△3,217
固定資産除売却損益(△は益)	3,194	1,866
受取利息及び受取配当金	△32,755	△42,204
支払利息	9	10
為替差損益(△は益)	6,803	6,992
売上債権の増減額(△は増加)	403,500	△774,882
たな卸資産の増減額(△は増加)	△342,395	△275,041
仕入債務の増減額(△は減少)	60,212	△67,388
未払金の増減額(△は減少)	△355,491	△101,083
その他	△45,356	336,252
小計	1,872,093	1,708,681
利息及び配当金の受取額	32,556	41,914
利息の支払額	△0	△30
法人税等の支払額	△734,986	△808,447
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,169,663	942,118
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△337,248	△351,444
無形固定資産の取得による支出	△42,250	△155,490
投資有価証券の取得による支出	△294	△500,686
投資その他の資産の増減額(△は増加)	5,683	8,636
定期預金の純増減額(△は増加)	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△374,111	△998,984
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△13,767	△31,106
配当金の支払額	△195,710	△348,756
非支配株主への配当金の支払額	△45,121	△22,586
その他	△606	△464
財務活動によるキャッシュ・フロー	△255,206	△402,914
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,643	△6,289
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	535,702	△466,070
現金及び現金同等物の期首残高	12,442,493	14,126,105
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,978,196	13,660,035

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,686,419	1,094,913	1,746,465	19,527,798	—	19,527,798
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	40,462	40,462	△40,462	—
計	16,686,419	1,094,913	1,786,928	19,568,261	△40,462	19,527,798
セグメント利益	1,654,759	27,374	92,574	1,774,708	—	1,774,708

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,063,966	1,683,958	1,853,879	20,601,804	—	20,601,804
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	69,702	69,702	△69,702	—
計	17,063,966	1,683,958	1,923,582	20,671,507	△69,702	20,601,804
セグメント利益	2,011,517	115,726	130,438	2,257,681	—	2,257,681

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。